

着物を借りて返さぬ髪結

平町五丁目女髪結大寺(三)は一昨年五月頃同町長橋町安田つねから銘仙羽織外二点と借り未だ返へさぬので平署詐欺の告訴を提起された。

梨の樹を切る 内郷

何大字宮農草野祖多吉方梨園の梨の木百四十本を何者か全部切り倒してあるのを発見平署に届け出たので平署刑事は遺留品のノコギリを手懸りに犯人捜索中である。

毎土曜デー

(午後三時ヨリ：午後十時まで)

品一十銭

カフエータバヒラ

平町一丁目(電話六二〇番)

平の琵琶演奏

四絃會では十一日午後六時半から同町半劇場で薩摩琵琶演奏大會を開催するが入場無料である

木賃宿で盗む 勿來

町字窪田木賃宿村上菊松方に止宿中の栃木縣生れ深井某が八日衣類敷点を窃取され九日植田署に訴へ出たので犯人嚴探中九日午前十時半頃川部村字三澤山林を徘徊する舉動不審の男を取調べたのに當時住所不定無職

石川亭の「柳川」

原忠兵衛(六三)と言ひ前記宿屋に投宿して盗んだ事を自白した

水道と発電所

兩立しない (下) 許可反對同盟會 一、発電所の水槽から分水供給する事は大瀧江筋から取水する事に比べてよりたゞ云ふべき程の利益はないのであ

一、故に好間川の流量が八四個に達しない時は平水道の所要水を満すには発電所の取水量は七〇個以下にならねばなりません、平水道が大瀧江筋から取水する場合でも発電所の水槽から分水供給する場合でもこの關係は同一であります、然して逓信省の調査に依りますと好間川の流量が八四個に達せざる事は大正八年に及び二百六十日以上の多きに及んで居ります、大正十五年五月には好間川の流量は僅かに最高三九個最低三一一個に過ぎません、この好間川の流量表の数字が雄辯に物語つて居る如く平水道は大瀧江筋より取水するとしてもまた発電所の水槽から分水供給するとしても好間川に於ては平水道と大瀧江筋との根本に於て利害相反し到底兩立し得ないのであります、如何にして電氣會社に降参すかの工風は電氣會社と特殊關係ある人に任して置いてよいのであります、一、吾人は先聖諸氏の多大の努力と八十萬の巨費を投じて水の悪い事有名平町と水を恵まれた平町としたこの全國有數なる平水道の保全に努めなければなりません。

ラウタール

治淋 新藥 其効顯著なるに實驗者は驚く 眞に淋病、消渴の特効新藥なり 悩み苦しむもの直ちに試みよ、必ず救はれん 定價 三圓也 重症用拾圓

山野邊藥局

代理 平町五丁目角

驚いた!!!

こうまで安いとは 一加納活版所の印刷物!!

東京商品取引 (六月十日前場)

一	六限	七限	八限
二	七限	七限	七限
三	七限	七限	七限
四	七限	七限	七限
五	七限	七限	七限
六	七限	七限	七限
七	七限	七限	七限
八	七限	七限	七限
九	七限	七限	七限
十	七限	七限	七限

東京株式清算取引高低表

株(當)	一五三三	一五三三	一五三三
寄付	一五三三	一五三三	一五三三
止	一五三三	一五三三	一五三三
白煉	二八〇	三三三	三三三
日七	三三三	三三三	三三三
日七	三三三	三三三	三三三
日七	三三三	三三三	三三三
日七	三三三	三三三	三三三
日七	三三三	三三三	三三三
日七	三三三	三三三	三三三

水鏡常盤

松ヶ岡公園は 春葉に變る 緑滴るばかりの 公園池畔 初夏の情景 を暮らひあれ

番六二二話電 畔池園公岡ヶ松

大和田醫院

耳鼻咽喉科 平町三丁目 電話一七〇番

開始 柳川 御一人前 出前

本年も相變らず 御最負の程願ひます

石川亭

牛 肉 御料理 平町田町(電話四三番)

靴と運動具

品と値の競争なら絶対負けぬ 市價の二割方安價 出來合 品 豊 富

大塚支店

製靴部 運動具部 磐城の平・田町(電話七〇二番)

當會社社長野崎才助儀 去る九日死去致候間此 段謹告仕候

昭和二年六月十日

小名濱水産株式會社